



2025年3月期 第3四半期 決算概要

シスメックス株式会社
2025年2月12日

Together for a better
healthcare journey

Disclaimer

- 本資料のうち、売上予想等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算出しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化により、実際の業績等が予想数値と大きく異なる可能性があります。
- 本資料に記載されている製品等の情報は、薬事認可取得の有無に関わらず宣伝広告および医学的アドバイスを目的としているものではありません。
- 当社グループは、2017年3月期より国際会計基準（IFRS）を適用し、IFRSに準拠して開示しております。
- 2022年3月期に、クラウド・コンピューティング契約におけるコンフィギュレーションまたはカスタマイゼーションのコストについて、サービスを受領したときにそのコストを費用として認識する方法に変更しています。

Index

1. エグゼクティブサマリー
2. 2025年3月期第3四半期 決算概要
3. 成長戦略の進捗と取り組み
4. 2025年3月期 業績予想

(補足資料)

- 3Q単四半期実績（対前年同期）
- 単四半期業績推移

1. エグゼクティブサマリー

エグゼクティブサマリー

2025年3月期 第3四半期実績

大幅な増収増益、売上高・営業利益・四半期利益ともに過去最高

前年同期比 売上高：112.4%、営業利益：124.2%、四半期利益：123.7%

- 試薬売上の伸長や新興国の成長機会の獲得により、全地域で増収を達成
- 販管費の適切なコントロールや円安の効果もあり、営業利益は大幅増益

通期業績見通し

ビジネスは堅調に推移しており、通期業績の達成を見込む

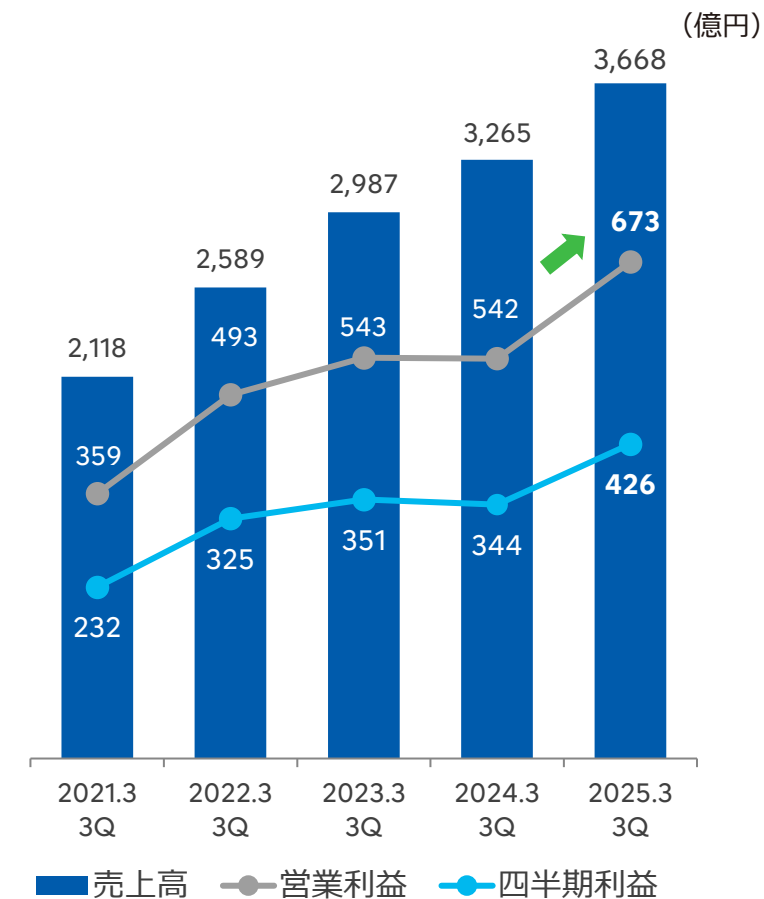
- 先進国における製品ポートフォリオの拡充による持続的な成長に加え、新興国の高い成長需要を獲得し、増収を継続
- 原価率の改善や販管費、研究開発費のコントロールにより、増益を見込む

2. 2025年3月期第3四半期 決算概要

決算総括（対前年）



(億円)	2025年3月期3Q		前年同期		前年同期比
	実績	構成比	実績	構成比	
売上高	3,668.6	100%	3,265.2	100%	112.4%
売上原価	1,680.5	45.8%	1,547.5	47.4%	108.6%
販売費及び一般管理費	1,099.7	30.0%	958.4	29.4%	114.7%
研究開発費	225.4	6.1%	232.1	7.1%	97.1%
その他の営業損益	10.4	0.3%	15.0	0.5%	69.6%
営業利益	673.4	18.4%	542.1	16.6%	124.2%
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	426.1	11.6%	344.6	10.6%	123.7%



- **売上高** : 試薬売上が継続して伸長するなど、全地域で増収、過去最高を達成
- **営業利益** : 粗利益の増加に加え円安の効果もあり、+24.2%と大幅増益、過去最高を達成

✓ **為替の影響** 売上高 +149.8億円、販管費 +40.8億円、営業利益 +101.1億円

✓ **前年同期為替レート適用の場合** 売上高 107.8%、販管費110.5%、営業利益 105.6%

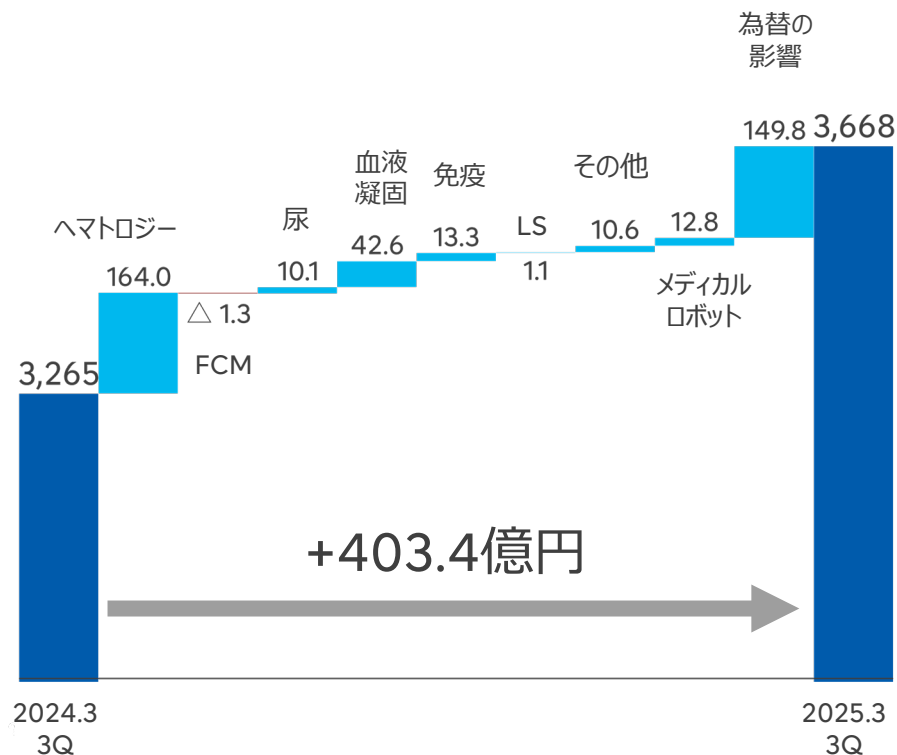
- **四半期利益** : +23.7%の増益 為替差損益 : △24.0億円（前年同期比△25.9億円）

	2025年3月期3Q	前年同期
1USD	152.6円	143.3円
1EUR	164.8円	155.3円
1CNY	21.2円	20.0円

売上高の増減要因（事業別・分野別）

事業別・分野別売上高

(億円)



COVID-19関連検査（ライフサイエンスと免疫に含む）

2025.3期3Q：16.7億円（国内のみ）

参考 2024.3期3Q：20.3億円（国内のみ）

ヘマトロジー・血液凝固・免疫分野が伸長した他、メディカルロボット事業も導入台数、症例数の増加により大幅伸長

(億円)	2025年3月期3Q		前年同期比	
	実績	構成比	円ベース	為替影響を除く
売上高	3,668.6	100.0%	112.4%	107.8%
ヘマトロジー	2,212.3	60.3%	113.3%	108.4%
FCM	23.8	0.6%	99.0%	94.6%
尿	302.3	8.2%	108.3%	103.6%
血液凝固	572.6	15.6%	112.6%	108.4%
免疫	183.5	5.0%	111.2%	108.1%
生化学	26.5	0.7%	106.9%	104.0%
ライフサイエンス	159.0	4.3%	105.2%	100.7%
その他	155.4	4.2%	111.7%	107.0%
ダイアグノスティクス事業	3,635.7	99.1%	112.0%	107.4%
メディカルロボット事業	32.9	0.9%	163.9%	163.9%

売上高の増減要因（地域別・品目別）

全地域増収、機器売上は対前年同等まで回復、試薬売上は好調に推移し2桁伸長を継続

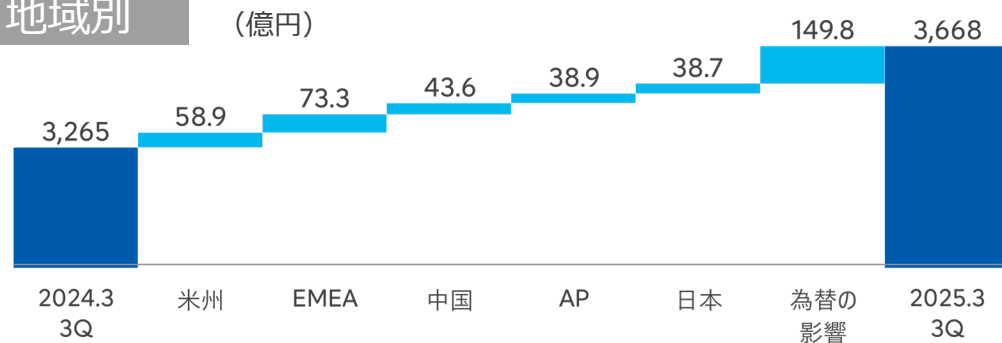
(億円)	2025年3月期3Q		前年同期比	
	実績	構成比	円ベース	現地通貨ベース
売上高	3,668.6	100.0%	112.4%	107.8%*
米州	964.2	26.3%	113.0%	106.2%
EMEA	1,028.7	28.0%	112.8%	106.3%
中国	820.0	22.3%	111.6%	106.0%
AP	383.7	10.5%	115.4%	111.7%*
日本	471.9	12.9%	108.9%	-
機器	712.1	19.4%	103.7%	99.4%*
試薬	2,291.4	62.5%	114.7%	110.2%*
サービス	505.8	13.8%	112.9%	107.5%*
その他	159.1	4.3%	119.2%	115.1%*

※為替の影響を除いた円貨ベースの前年同期比伸長率

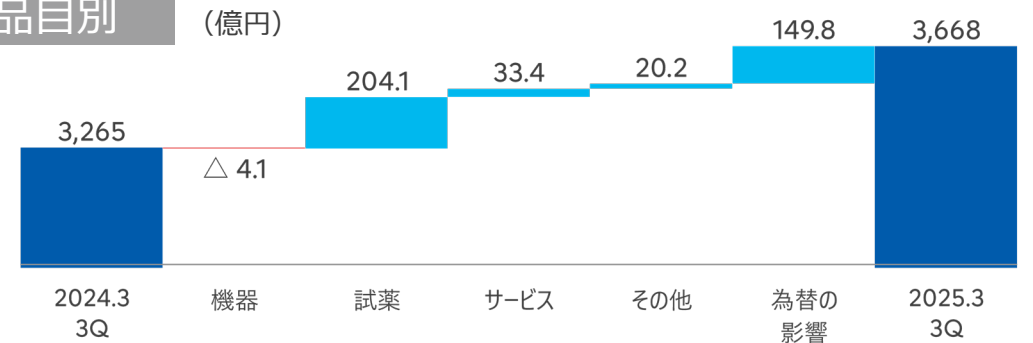
地域別の主な増減要因

米州	<ul style="list-style-type: none"> ヘマトロジー、尿分野の伸長に加え、アルツハイマー検査も伸長し、増収を達成
EMEA	<ul style="list-style-type: none"> 直販効果や血液凝固の顧客獲得などにより、ヘマトロジー・尿・血液凝固分野で試薬が伸長し、増収を達成
中国	<ul style="list-style-type: none"> 機器売上が回復基調へ、試薬はヘマトロジー、血液凝固分野を中心に伸長し、増収を達成
AP	<ul style="list-style-type: none"> インドをはじめ各国で好調に推移し、2桁伸長、増収を達成
日本	<ul style="list-style-type: none"> ダイアグノスティクス事業はヘマトロジー・血液凝固分野が好調に推移。メディカルロボット事業も伸長し、増収を達成

地域別



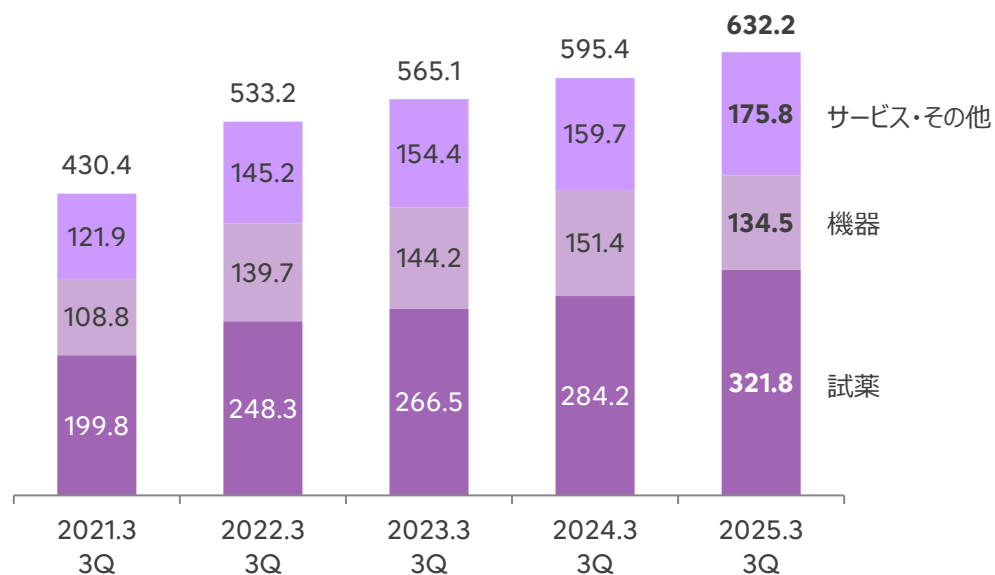
品目別



米州 (地域別)

(Million USD)	2025年3月期 3Q	前年同期	前年同期比	
			現地通貨ベース	円ベース
売上高	632.2	595.4	106.2%	113.0%
機器	134.5	151.4	88.9%	94.8%
試薬	321.8	284.2	113.2%	120.5%
サービス・その他	175.8	159.7	110.1%	117.1%

売上高推移 (Million USD)



ヘマトロジー分野の機器売上は対前年同等まで回復、
試薬売上は継続して2桁伸長を達成し、増収

● 機器

✓ 前年度好調だった尿分野の反動に加え、上期の北米での納品遅延による影響を受け減収も、回復基調

● 試薬

✓ ヘマトロジーや尿分野の機器設置台数増加に伴い、2桁伸長を達成し、増収

✓ 血液凝固分野も伸長、アミロイドβ検査試薬*も、堅調に推移

*4.9 Million USD

参考：米州の機器売上構成比 (2025年3月期3Q)

連結に占める米州の機器売上構成比は5-6%程度であり、関税引き上げがあった場合でも影響は軽微
サプライチェーン全体での検討を進め、影響をより低減していく



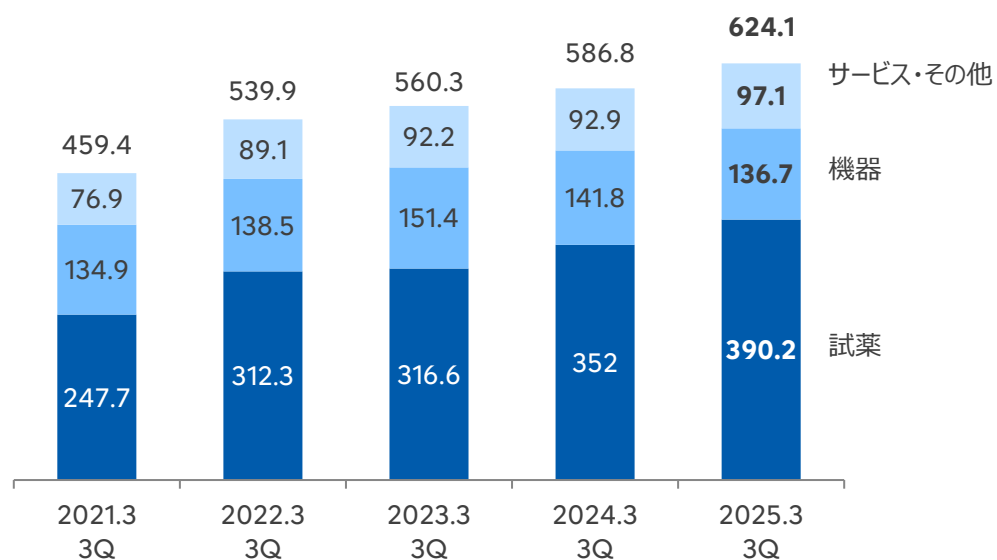
連結全体に占める米州機器売上：5.6%

EMEA (地域別)

(Million EUR)	2025年3月期 3Q	前年同期	前年同期比	
			現地通貨ベース	円ベース
売上高	624.1	586.8	106.3%	112.8%
機器	136.7	141.8	96.3%	102.1%
試薬	390.2	352.0	110.8%	117.7%
サービス・その他	97.1	92.9	104.5%	111.0%

継続的なヘマトロジーの伸長に加え、尿・血液凝固分野の試薬売上が+20%以上伸長し、増収

売上高推移 (Million EUR)



※過年度データを含め、ロシアの売上高を除いています

● 機器

- ✓ ヘマトロジー分野は伸長も、イタリアの直接販売切り替えによる尿分野の一時的な減少などにより、減収
- ✓ 直販エリアの伸長およびOEM契約の効果などにより、血液凝固分野における当社の顧客は着実に増加

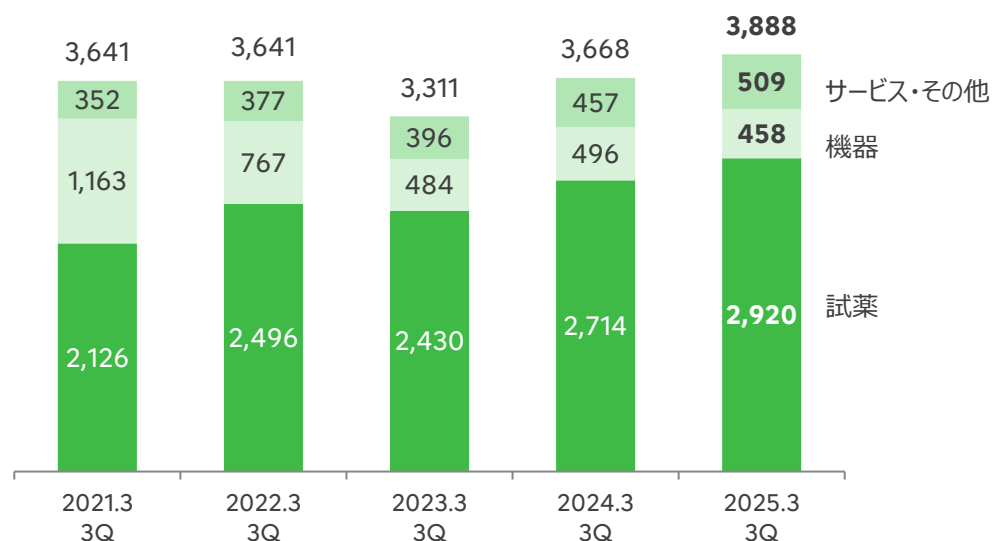
● 試薬

- ✓ ヘマトロジー分野において、直販化したサウジアラビアなどで好調に推移
- ✓ 機器設置台数増加によりスペインなどで尿分野が伸長した他、血液凝固分野のOEM契約による販売も好調に推移し、増収

中国（地域別）

(Million CNY)	2025年3月期 3Q	前年同期	前年同期比	
			現地通貨ベース	円ベース
売上高	3,888.5	3,668.5	106.0%	111.6%
機器	458.9	496.7	92.4%	97.5%
試薬	2,920.4	2,714.2	107.6%	113.4%
サービス・その他	509.1	457.5	111.3%	116.6%

売上高推移（Million CNY）



機器売上は、1Qの減収影響が残るも、3Q単四半期では2桁伸長を達成。試薬売上も好調に推移し、増収

● 機器

- ✓ XR™シリーズや現地生産化したヘマトロジー分野ローエンドモデルおよび尿分野の販売が好調に推移
- ✓ 免疫分野は増収を達成、現地生産を開始した血液凝固分野は上位市場への設置が順調に推移

● 試薬

- ✓ 3級病院を中心に外来患者数の増加、機器設置台数の増加もあり、ヘマトロジー・血液凝固分野が伸長し、増収
- ✓ 免疫分野は集中購買の影響もあり、微増

外来患者は引き続き増加基調、下位市場を対象とした製品で新規顧客の獲得を進める
政府調達方針の厳格化や集中購買の広がりはあるも、現地調達の検討やコストダウンの対応を進める

政府調達方針の厳格化

- 国内調達部品の構成比率設定に向けた意見公募
- 中国産製品への価格などの優遇措置の拡大

当社の対応

- ✓ 機器の現地生産品目の拡大
- ✓ 現地での部品調達に向け、サプライチェーン調査・評価を実施し、現地サプライヤ選定を推進

集中購買の広がり（免疫分野試薬）

- 感染症など16項目について25省で適用開始
- 腫瘍マーカー・甲状腺など新たに24項目の入札完了

当社の対応

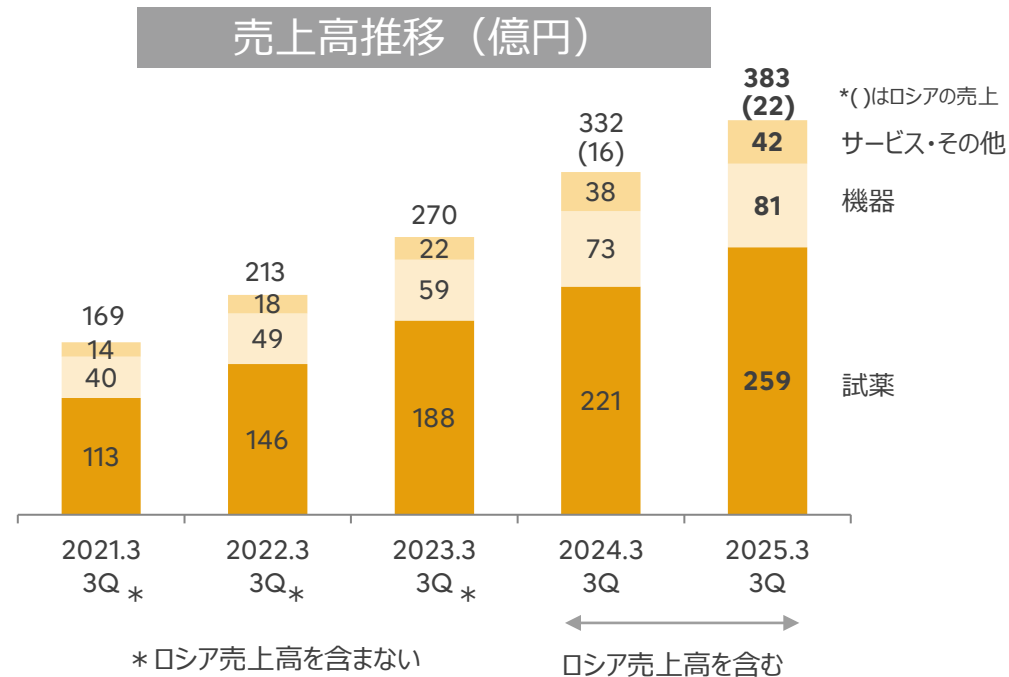
- ✓ 直接販売・サービスの検討
- ✓ 試薬の自社化による原価率低減
- ✓ 新規顧客獲得によるシェア拡大

AP（地域別）

※ロシア売上高を含むデータへ変更

(億円)	2025年3月期 3Q	前年同期	前年同期比 円ベース
売上高	383.7	332.6	115.4% (111.7%)
機器	81.9	73.0	112.2%
試薬	259.0	221.6	116.9%
サービス・その他	42.7	38.0	112.3%

*()は為替の影響を除いた場合



医療インフラへの投資需要は高く、インド、オーストラリアで+30%を超えて伸長するなど、各国好調に推移し、2桁伸長を達成

ダイアグノスティクス事業

● 機器

- ✓ ヘマトロジー分野は、インドやオーストラリアを中心に伸長。免疫分野は、フィリピンやインドネシアなどの東南アジアを中心に好調に推移し、増収

● 試薬

- ✓ ヘマトロジー分野は、東南アジアなどで大幅伸長。尿、血液凝固分野もタイなどで好調に推移し、全分野で2桁伸長

メディカルロボット事業

- ✓ シンガポールおよびマレーシアの病院にて計3台導入
- ✓ 初症例も実施され、堅調に手術数は増加

日本（地域別）

(億円)	2025年3月期 3Q	前年同期	前年同期比 円ベース
売上高	471.9	433.1	108.9%
ダイアグノスティクス事業	439.3	413.0	106.4%
機器	85.2	65.1	130.8%
試薬	281.9	277.7	101.5%
サービス・その他	72.1	70.1	102.9%
メディカルロボット事業	32.5	20.1	162.0%

ヘマトロジー・血液凝固分野が機器・試薬ともに伸長。メディカルロボット事業も好調に推移し、2桁伸長を達成

ダイアグノスティクス事業

● 機器

- ✓ ヘマトロジー分野において、XRシリーズの販売が好調に推移し、対前年+80%超と大幅増収

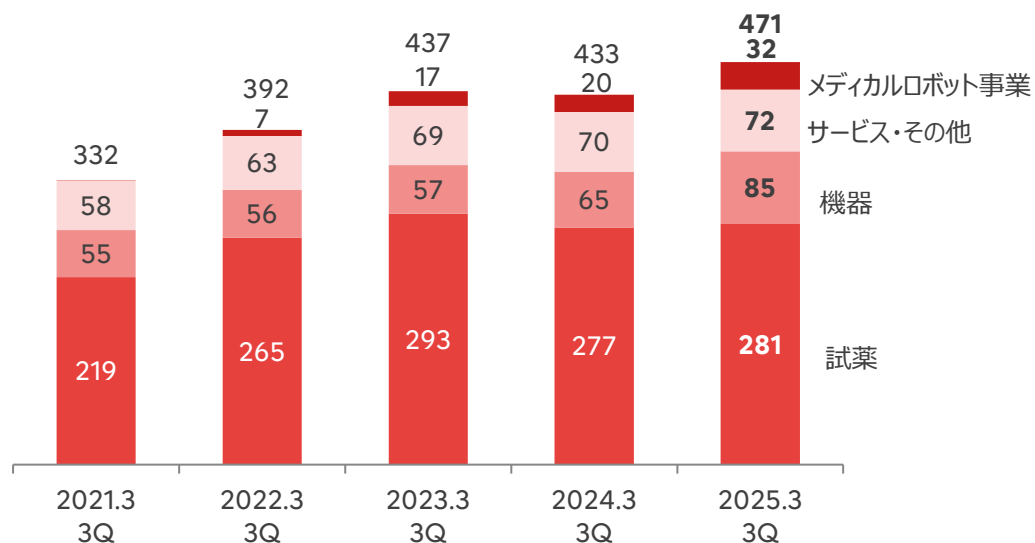
● 試薬

- ✓ 機器設置台数の増加によるヘマトロジー分野の増収に加え、血液凝固分野の採用項目拡大により伸長し、増収

メディカルロボット事業

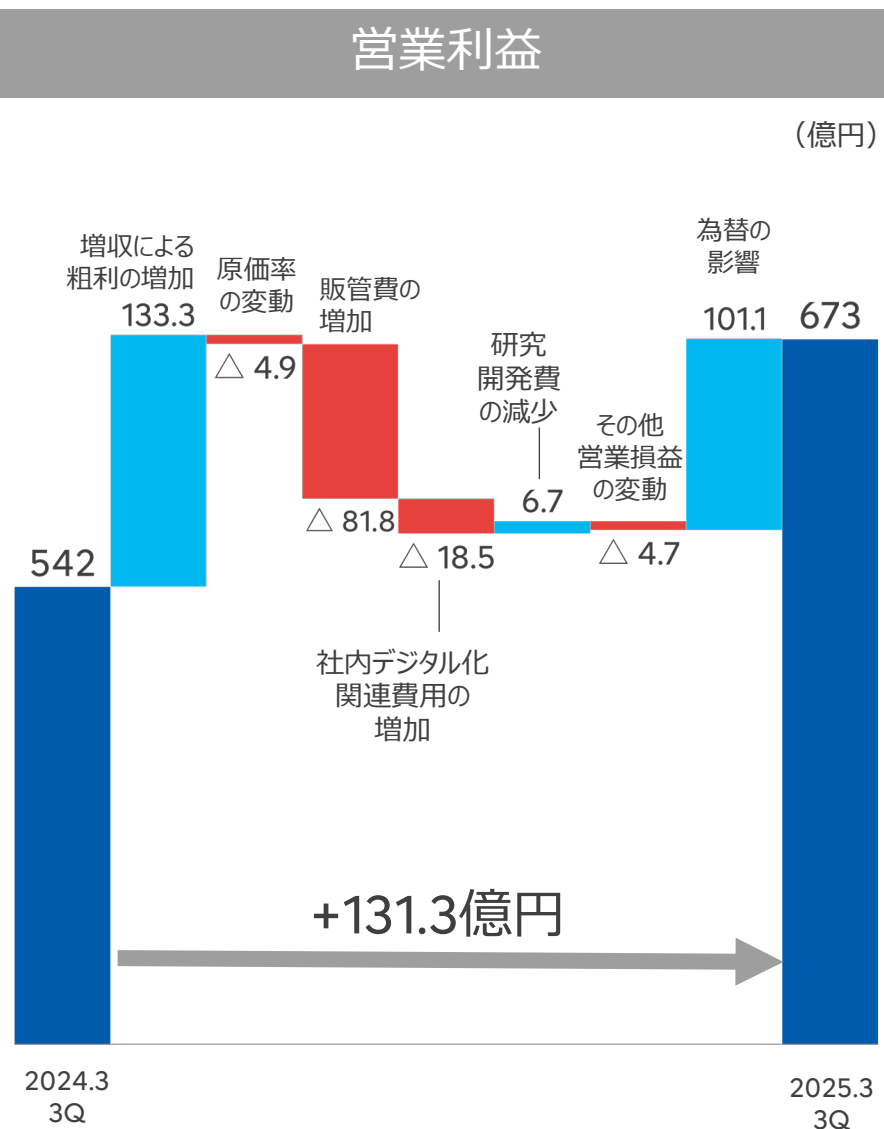
- ✓ 3Qで新たに7台導入（今年度：16台）、累計台数：71台
- ✓ 導入台数および症例数の増加に伴い、サービス・消耗品（鉗子など）の売上が増加

売上高推移（億円）



営業利益の増減要因

※下記数値・コメントは為替の影響を除く



- 増収による粗利の増加： +133.3億円
 - 原価率の変動影響： Δ 4.9億円 (0.1pt悪化)
 - ✓ 改善要因：プロダクトミックス 0.8pt
 - ✓ 悪化要因：サービスコスト 0.2pt、輸送費 0.3pt、製品等の原価 0.3pt
 - 販売管理費の増減影響： Δ 81.8億円
 - ✓ 労務費：規模拡大に伴う人員増や単価増などによる増加：約49億円
 - ✓ 経費：規模拡大や販促活動による増加：約25億円
 - 社内デジタル化関連費用の増減影響： Δ 18.5億円
 - 研究開発費の増減影響： +6.7億円
 - ✓ 継続した製品開発投資や薬事関連費用があるも、テーマの精査などにより減少
 - その他営業損益の増減影響： Δ 4.7億円
-
- 為替の影響： +101.1億円

第3四半期の進捗（対計画）

売上高

通期進捗率 71.9%

- 地域や分野別の強弱はあるものの、グループ連結としては、計画どおりの実績を達成
- ヘマトロジー分野の試薬伸長を軸に成長を継続

原価率

- 試薬売上が好調に推移し、計画を若干超える改善を達成

販管費等

- 必要な投資は継続
- 円安影響を受けるも、販管費と研究開発費はほぼ計画内に収めた

営業利益

通期進捗率 74.8%

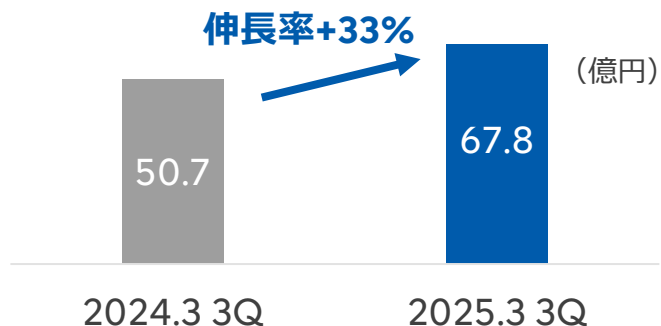
- 売上伸長、原価率の改善により、計画を若干上回る実績を達成

3. 成長戦略の進捗と取り組み

～ 新興国戦略・既存事業の強化・新規事業の拡大 ～

高成長が期待されるインドにおいて、生産体制構築が順調に進む

インド売上高推移



新生産拠点稼働に向け、機器・試薬の薬事申請中

- ✓ 機器：現地調達部品を用いた生産準備を完了
- ✓ 試薬：次年度に向けた生産準備を完了し、試薬生産能力を大幅に拡大



インド新生産拠点



稼働に向けたトレーニングを実施

EMEAや韓国などでBloodScience※の導入が進むなど、新たな取り組みが着実に進展

血液凝固分野におけるOEM契約の進展

- ✓ EMEA：ドイツを中心に他社攻略が好調、さらにデンマークで大型案件を獲得するなど、ビジネス環境は良好、BloodScienceも好評価
- ✓ 米州：北米、中南米とも順調に受注が増加、今後伸長していく見通し

XRシリーズの導入

- ✓ 日本：旧製品の更新が順調、大手検査センターで稼働開始
- ✓ EMEA、AP、中国：導入済み、顧客評価は高く、買換えおよび新規顧客獲得を推進中
- ✓ 米州：XRシリーズ導入に向け準備が進む。周辺モジュールBT-50が好評

中国における現地生産化の推進

- ✓ 免疫分野のHISCL™-5000ノックダウン製品の販売開始
- ✓ 主要ラインナップの準備完了

BloodScience
※ヘマトロジー分野と血液凝固分野の融合



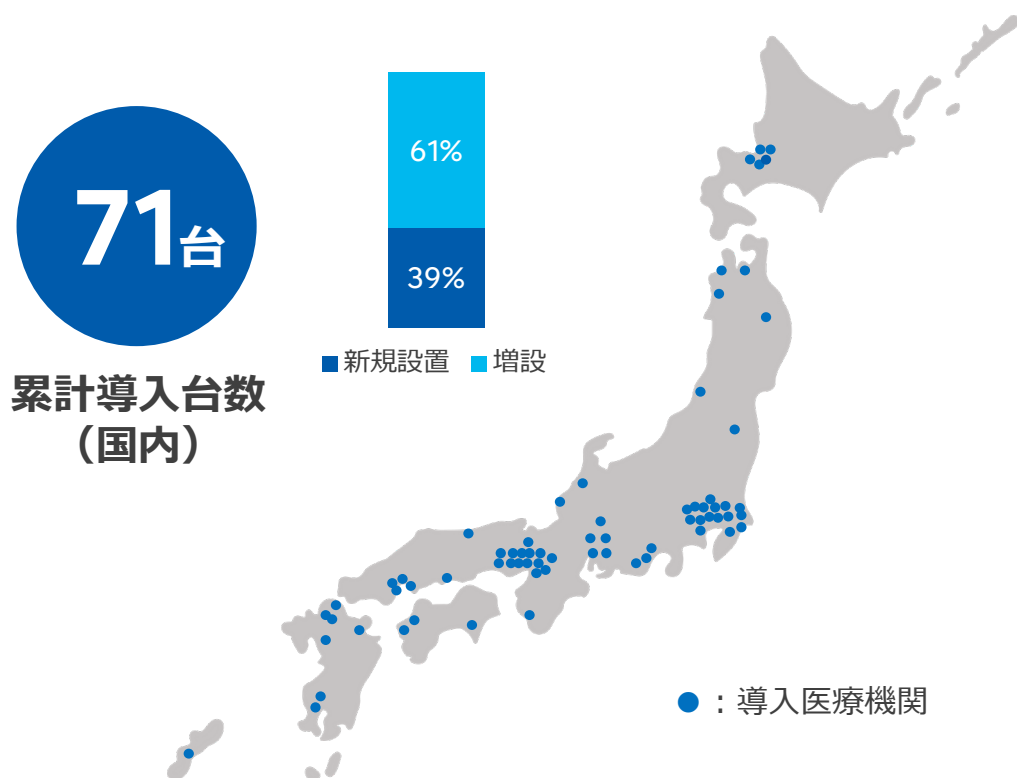
■ BloodScience導入事例（韓国）

新規事業の拡大（メディカルロボット事業：日本）

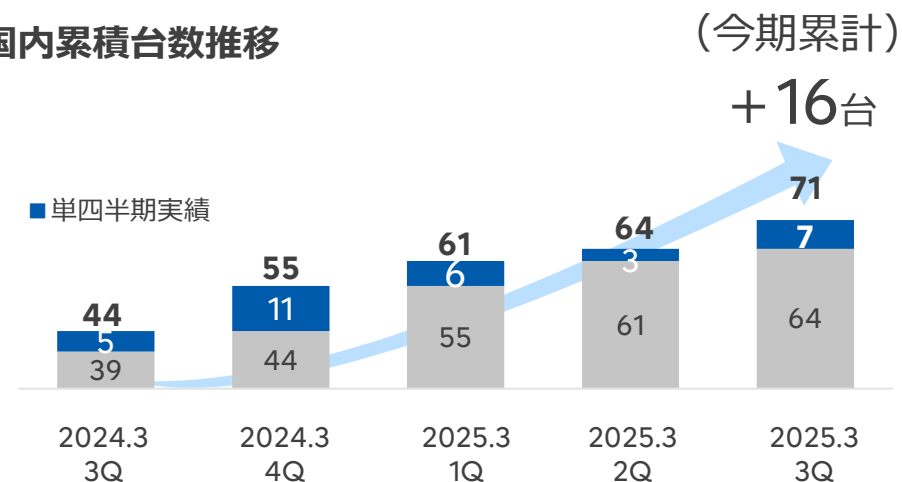
着実に導入台数・症例数が伸長し、ビジネス環境は良好

hinotori™の導入状況

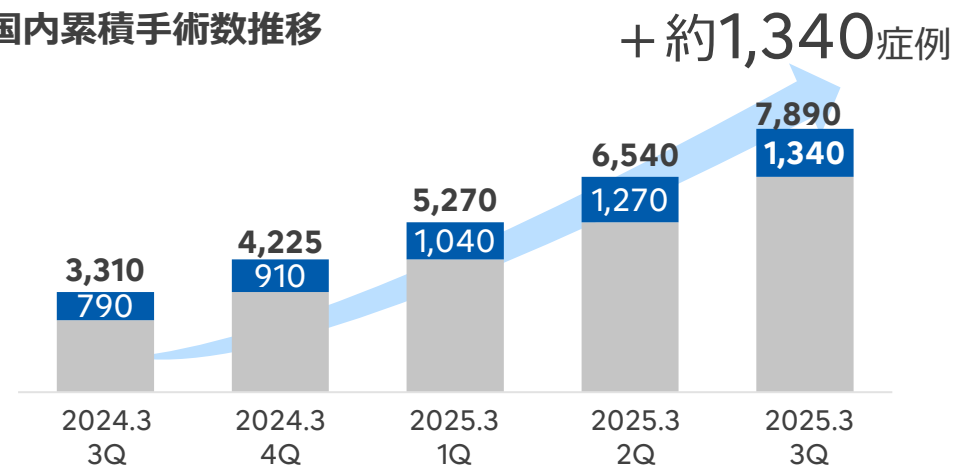
- ✓ 全国の大学病院、基幹病院への導入が着実に進み、系列病院や一般病院への導入地盤を構築



国内累積台数推移



国内累積手術数推移



新規事業の拡大（メディカルロボット事業：海外）

シンガポールで海外初の導入・手術を実施するなど、海外市場への取り組みも着実に進捗

hinotoriの導入状況

- ✓ シンガポールへの海外初導入・初症例に加え、マレーシアの病院2施設へ導入完了



マレーシア（2施設）



シンガポール（1施設）

※引用：施設Webサイト



今後のグローバル展開計画

2026年3月期：欧州市場参入予定

2027年3月期：米国市場参入予定



グローバル累計導入台数

サステナビリティピックアップ

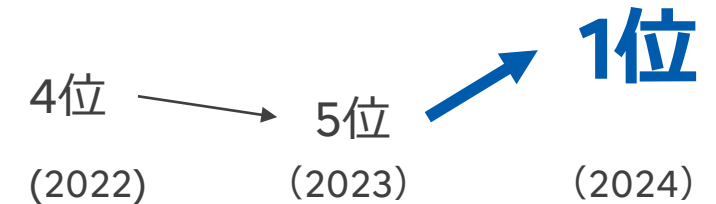
「ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・ワールド・インデックス」に9年連続選定

✓ 「Health Care Equipment & Supplies（ヘルスケア機器）」セクターにおいて、最高位を獲得

■ 主な評価ポイント

経済ガバナンス	調達方針、税務方針の改定など
環境	再エネ導入・エネルギー使用量の削減など

■ 順位の推移*ヘルスケア機器



ヘルスケア業界初、水平リサイクル容器を採用した試薬の販売開始

- ✓ 2025年1月から国内で販売開始
- ✓ 新品の素材のみで製造したバージン樹脂の資源消費を抑制および使用済み容器の廃棄処分に伴うCO₂排出の削減を目指す
- ✓ さらに原料価格上昇時への備えに対応

■ 試薬容器の水平リサイクル



ニュースリリース・トピックス（2024年10月～2025年1月）



既存事業の強化

- 「HISCL™ TARC試薬」、重症薬疹診断の血清バイオマーカーとして国内初の保険適用（日本）

新規事業の拡大

- 手術支援ロボット「hinotoriサージカルロボットシステム」、シンガポールで海外初の導入および手術を実施（AP）
- シスメックスとJ-TEC、再生細胞医療における製造機能の高度化に向けた基本合意（日本）

サステナビリティ

- 「Global 100」（世界で最も持続可能な企業100社）に6回目の選出
- 性的マイノリティに関する取り組み指標「PRIDE指標」で最高位ゴールドを3年連続受賞（日本）

4. 2025年3月期 業績予想

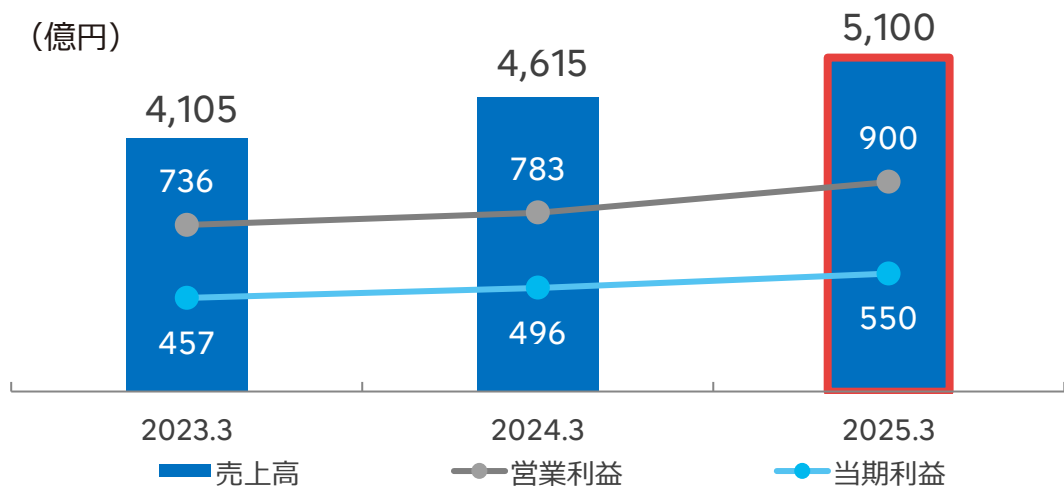
2025年3月期 業績予想

(2024年11月公表から変更なし)



(億円)	2025年3月期		2024年3月期		伸長率
	予想	構成比	実績	構成比	
売上高	5,100	100.0%	4,615.1	100.0%	+10.5%
売上原価	2,360	46.3%	2,190.1	47.5%	+7.8%
販売費及び一般管理費	1,509	29.6%	1,337.9	29.0%	+12.9%
研究開発費	340	6.7%	314.0	6.8%	+8.3%
営業利益	900	17.6%	783.8	17.0%	+14.9%
親会社の所有者に帰属する当期利益	550	10.8%	496.3	10.8%	+10.8%

投資計画 設備投資 500億円 減価償却費 400億円



● 想定為替レート

	通期想定 (2024年11月修正)	前期実績 (24年3月期)
1 USD	149.8円	144.6円
1 EUR	162.0円	156.8円
1 CNY	20.8円	20.1円

● 為替感応度の概算値

	売上 (年間)	営業利益 (年間)
USD	8.0億円	1.4億円
EUR	5.5億円	1.0億円
CNY	57.5億円	42.1億円

(補足資料)

3Q単四半期実績（対前年同期）



(億円)	2025年3月期3Q (10月-12月)			2024年3月期3Q (10月-12月)	
	実績	構成比	前年同期比	実績	構成比
売上高	1,243.8	100.0%	109.3%	1,138.2	100.0%
売上原価	568.7	45.7%	107.2%	530.6	46.6%
販売費及び 一般管理費	376.0	30.2%	113.1%	332.5	29.2%
研究開発費	73.0	5.9%	89.0%	82.0	7.2%
その他の営業損益	2.3	0.2%	21.2%	10.9	1.0%
営業利益	228.4	18.4%	112.0%	203.8	17.9%
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	166.1	13.4%	135.3%	122.7	10.8%

2025年3月期：単四半期業績推移



(億円)

	1Q (4月-6月)		2Q (7月-9月)		3Q (10月-12月)	
	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比
売上高	1,119.4	100.0%	1,305.3	100.0%	1,243.8	100.0%
売上原価	519.0	46.4%	592.7	45.4%	568.7	45.7%
販売費及び 一般管理費	360.1	32.2%	363.5	27.9%	376.0	30.2%
研究開発費	73.5	6.6%	78.8	6.0%	73.0	5.9%
その他の営業損益	0.7	0.1%	7.4	0.6%	2.3	0.2%
営業利益	167.4	15.0%	277.5	21.3%	228.4	18.4%
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	110.3	9.9%	149.7	11.5%	166.1	13.4%

	2025年3月期1Q	2025年3月期2Q	2025年3月期3Q
1USD	155.9円	149.4円	152.4円
1EUR	167.9円	164.0円	162.6円
1CNY	21.5円	20.8円	21.2円

Together for a better
healthcare journey